○特定外来生物には指定されていない外来生物の中にも、ペットや園芸植物として本県に持ち込まれ山野等で自然繁殖するなど、生態系になんらかの影響を与えるおそれのあるものがあります。
そのうち、ここでは、県内全域に生息が拡大しているもの、今後野生化し繁殖が拡大するおそれのあるものを取り上げています

【ミシシッピアカミミガメ】
□原産地　アメリカ南部、メキシコ北東部
□特徴等 ・成体は、雄で背甲長20cm、雌で28cm程度。
・雑食性でさまざまな動植物を摂食し、繁殖力が強い。
・在来種のカメ類と食物や日光浴場所が類似し、競合する。
・県内全域に生息が拡大。子ガメが緑色をしていることから「ミドリガメ」（4～5cm）と呼ばれることが多い。

（成体）

（幼体）

＊通称「ミドリガメ」

【オオバアメリカアサガオ】
□原産地　南アメリカ
□特徴等 ・花は10cm前後で青紫色、中心部は赤紫色をしている。つるは1年で伸びて10 mをこえる。葉はほとんどが円形で幅15cmにもなる。
・朝開いて一日中咲いており、11月頃まで咲き続ける。
・種子はほとんどつくらず、葉柄近くから根を出して新苗になり冬を越す。かなり繁殖力が強い。
・園芸品種として売られていたものが山野等に放置されるなど、野生化による繁殖が懸念される。

【メリケントキンソウ】
□原産地　南アメリカ
□特徴等 ・小さな草で、明るい緑色をしている。
・枝に花をつける。
・果実には2mmくらいのトゲがあり、靴の裏などに刺さることで、分布を拡大する。
・公園、路傍、空き地、芝生などの明るい場所に生育する。

## ～宮崎県内に生息する国内から持ち込まれた生物～

海外から日本国内に持ち込まれた生物だけではなく、日本国内の別の地域から本県に持ち込まれた生物についても、もともとその地域にいなかった生物が拡散することで、地元の生物になんらかの影響を与えるおそれがあります。

【オキナワキノボリトカゲ】

□分　布　沖縄諸島、奄美諸島
　　＊九州には自然分布していない

□特徴等　・成体の頭胴長は、雄で7～8.5cm、雌では6～7cmほどで、尾は細長く頭胴長の 2.5～3 倍に達する。
・体色は背面がおおむね緑色ないし緑褐色。
・3月下旬から8月にとくに活動性が高い。
・樹の上に生息し、主にアリなどの昆虫を食べるが、セミなどの大型昆虫やヤモリ類の幼体を襲うこともある。
・ 日南市油津に分布している。

写真のご協力（敬称略）

齋藤政美　末吉豊文　星野一三雄　南谷忠志